実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

大心に回答が回り、「「中間ループ事業」 の基本情報

【計画ベース】

	道(H2O 3月),		
	領(H20 3月),		
作文化本 T 鳴門の子ども,首成プラン(H25 5月鳴門市教育委員会策定)、「グロー	「英語が使える日本人」育成のための戦略構製 (H14)、学習指導要領 (H20 3月)、 「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言 (H23 6月)、「世界にはばたく 鳴門の子ども」育成プラン(H25 5月鳴門市教育委員会策定)、「グローバル化に対応		
基本政策(大項目) 2 ずっと笑顔で 生きがい感じる まちづくり 計画など した実験教育改革の五つの提高 (H28)、「中教書教育課程企画特別 (H27 8月)	部会論点整理」		
政策(中項目) 3 たくましく生きる力を育むまち なると 開始 平成 ▼	3 年度		
(小項目) 教育行政 事業 (***********************************	3 千皮		
施策 1 教育行政の充実 期間 終期 未定 ▼			
基本事業 6 教育支援体制の充実			
☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無			
□ふるさと納税寄附金等要求 □ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

● 手来機 女 (1 mm)																
目的	国シ	際化への対応が求められる中、小・中・高を見通した外 語教育の充実を図り、豊かな国際感覚とコミュニケー ョン能力を持った「世界にはばたく鳴門の子ども」を育成 る。					^拔 事:	業容	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語カアップ対策講座の実施 ③We Love NARUTO!~中学生英語発信コンテスト~の実施						~の実	
	①達成状況の把握・検証 ②モチベーションの喚起						(R		他 ④児童生徒の意識調査の実施と成果の検証 ⑤グローバル人材講演会の実施 等							
実施 方針	4	③体験の場の設定 ④教員の指導力向上・授業改善 ⑤情報発信						当初 からの からの 変更点 ・外国語指導助手任期満了に伴う帰国旅費								
指標名							平成29	年度実	績 平成	30年度実績見込	令和元年度	目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
活動指標		1	幼・小・中	中学校訪問日数				1,4	78	1,506	1,5	506	1,506	1,506	日	
実施した事業の 動量を示す指標		2	英検受検	者数(3級以上)				2	60	205	2	220	230	240	人	
- 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		指標名					平成29	年度実	績 平成	30年度実績見込	令和元年度	和元年度目標 令和2年度目標		令和3年度目標	単位	
対象にどのような	成果指標 対象にどのような効果 果があったか示す指 様 中学3年生のアンケート結果「外国の人に れたら」の項目に「英語で答える」と回答す						5		62		58	59	60	%		
			年度	平成29年度	Ę	平成30年	F度	を表現しています。 その記念を表しています。 その記念を表しています。 その記念を表しています。 そのことでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも			令和3年度					
事業の 実施内 容推移	▶ 各年度の実			「世界にはばたく鳴 ども」育成事業であ 受験料補助事業の 指導支援、英語力 対策講座等の実施	る英検 奨励、 アップ	.検 り、 継続実施				売実施		継続実施		継続実	施	
事業費	推彩	3	年 度 当初予算額 補			→		全体子	5算額	章額 令和2年度		令和3	令和3年度			
(千円)		計			40,173		Δ	△ 699		39,474		7,707		7,70	7,707	

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容

令和元年度実施内容

指標名

令和2年度から段階的に開始される小・中学校新学習指導要領完全実施が円滑に実施できるように、小中高外国語教育研究委員会で検証・改善を行った。また、児童や生徒の英語学習への意欲を喚起するため体験的な活動を実施した。また、鳴門教育大学と連携し、「英語カアップ対策講座」の充実を図った。

平成30年度実績 令和元年度実績 令和2年度目標 令和3年度目標 令和4年度目標 単位

			JE DV. H		1 79000 1 72 70 190	1- 14-0-1 22-0-126	17 112 1 人口体	ける「人口」が	1711.1人口以	— III		
活動指標	1	幼・小・	•中学校訪問日数		1,506	1,506	1,506	1506	1,506	日		
実施した事業の活動量を示す指標	2	英検受	検者数(3級以上)		205	203	210	220	230	人		
成果指標 対象にどのような効 果があったか示す			Eのアンケート結果「タ こら」の項目に「英語で			73	59	60	60	%		
指標			目標達成率(実	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		125.9				%		
			左 亩	亚弗20年由达第		令和元年度決算						
			年 度	平成30年度決算	前年度からの繰越決	F度からの繰越決算額 決算 額		和2年度への繰起	超額 最終事	最終事業費		
			āl	39,474,000	0	0 38,34		0	38,34	6,147		
事業費推和	E		国庫支出金	0	0	0 0		0	C	0		
(円)	財		県支出金	0	0	-)	0	C)		
		源	地方債	0	0	()	0	C)		
		内	使用料•手数料 0		0)	0	C)		
		訳	その他	1,000	0)	0	0)		
			一般財源	39,473,000	0	38,34	6,147	0	38,34	38,346,147		

◎評価(CHECK)

emm(dicol)										
今年度の	進捗状況	計画ど	事業全体の	の進捗状況	計画どおり					
	指標名	中学3年生のアンケー に英語で話しかけられ 「英語で答える」と回答	たら」の項目に							
成果指標に対 する評価	目標	58	%	水米拍係 〜対	徒の割合は、前	しかけられたら英語で答える」生 「年度より11%上昇するなど成果				
, 5 m lm	実績	73	%		が見られた。					
	評価	A:目標を達成できた								

◎今後の方向性(ACTION)

課題

「外国の人に英語で話しかけられたら英語で答える」と回答する中学3年生の割合を保持するために、モチベーションの喚起や英語を使う場を設ける取り組みを行う。また、英検受検率と英検3級以上の合格率向上を推進するため、英検補助金制度の積極的な活用を奨励を行う取り組みのほか、英検受験者等のレベルアップを目的とした「英語カアップ対策講座」の充実を図る。併せて、小中学校における授業改善のため、教職員研修会の充実を図る。

		講座」の充実を図る。併せて、小中学校における授業改善のため、教職員研修会の充実を図る。											
			1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3						
↓今後のた	↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。												
実施内容		口2年度	小学校における新学習指導要領実施にあたり、適切な指導や評価が行われているか、検証・改善を行う。令和3年度の中学校における新学習指導要領実施に向け、小中高連携の視点から課題や取組を検討し、教員が共有できるよう情報発信を行ったり、授業改善につながる研修を検討する。また、英検補助金制度についての奨励や「英語カアップ対策講座」を継続し、英検受検率や英検3級以上の合格率の向上を図る。										
大儿巴门谷		13年度	中高連携の視点がる研修を工夫	新学習指導要領完全実施 点から課題や取組を検討し としたりする。英検補助金額 級以上の合格率の向上で	ン、教員が共有できるよう 制度についての奨励や「英	情報発信を行ったり、授	業改善につな						